



公益社団法人塩釜法人会 女性部会主催

第17回 小学6年生の

税に関する絵はがきコンクール

入賞作品 (10点)

敬称略

《公益社団法人塩釜法人会 会長賞》



多賀城市立天真小学校

さかい
境

ね ね
音 寧

《公益社団法人塩釜法人会 女性会長長賞》



多賀城市立多賀城東小学校

おおさき
大寄 ねいろ

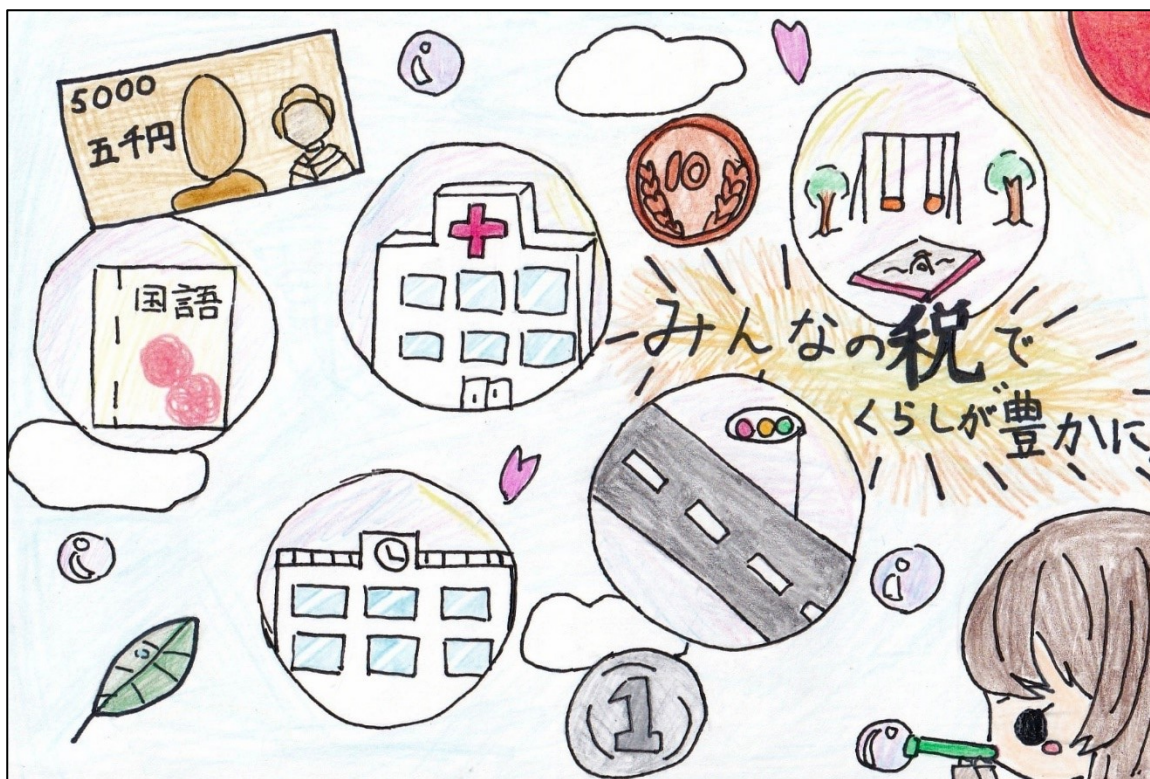
《塩釜税務署長賞》



多賀城市立多賀城小学校

さいとう みさき
齋藤 美咲

《公益社団法人塩釜法人会 優秀賞》



多賀城市立山王小学校

にしだ
西田

りのん
琳音

《公益社団法人塩釜法人会 優秀賞》



多賀城市立天真小学校

おくい ななか
奥井 菜々香

《公益社団法人塩釜法人会 優秀賞》



多賀城市立天真小学校

ごとう めいか
後藤 明佳

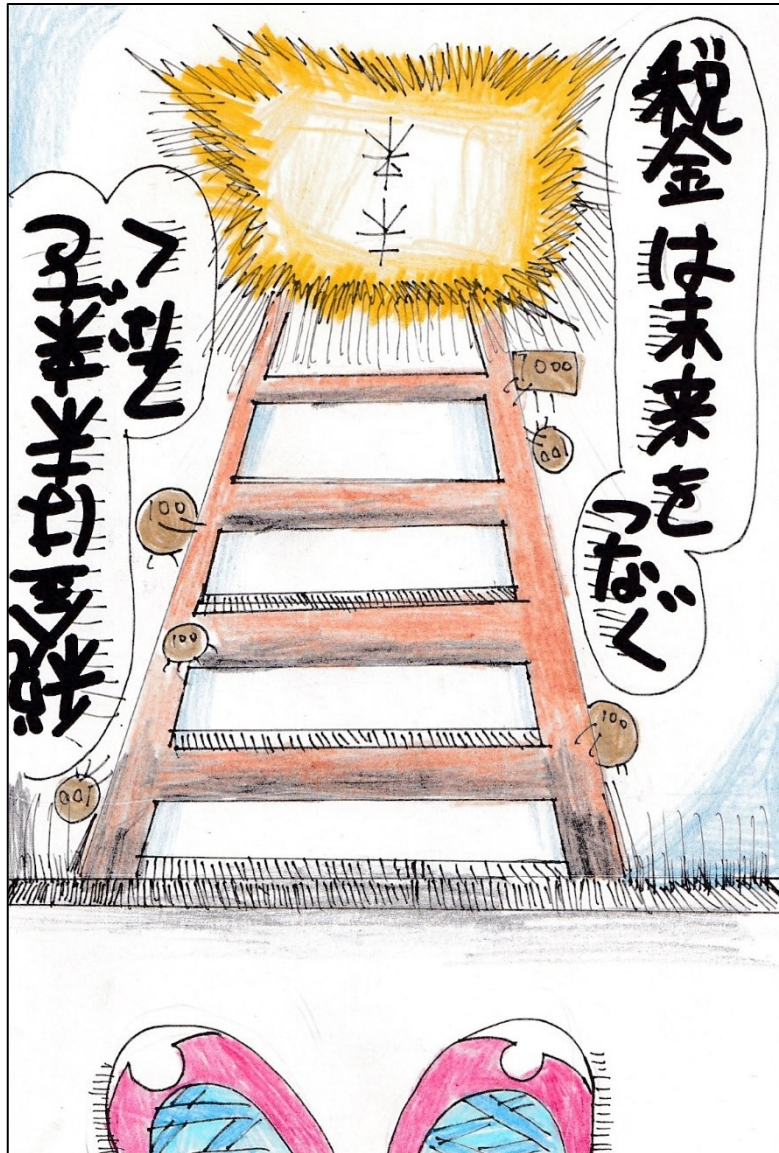
《公益社団法人塩釜法人会 優秀賞》



松島町立松島第一小学校

たかの 高野
きほ 希歩

《公益社団法人塩釜法人会 優秀賞》



利府町立青山小学校

う つ ぎ い ち か
宇 都 木 一 花

《公益社団法人塩釜法人会 優秀賞》

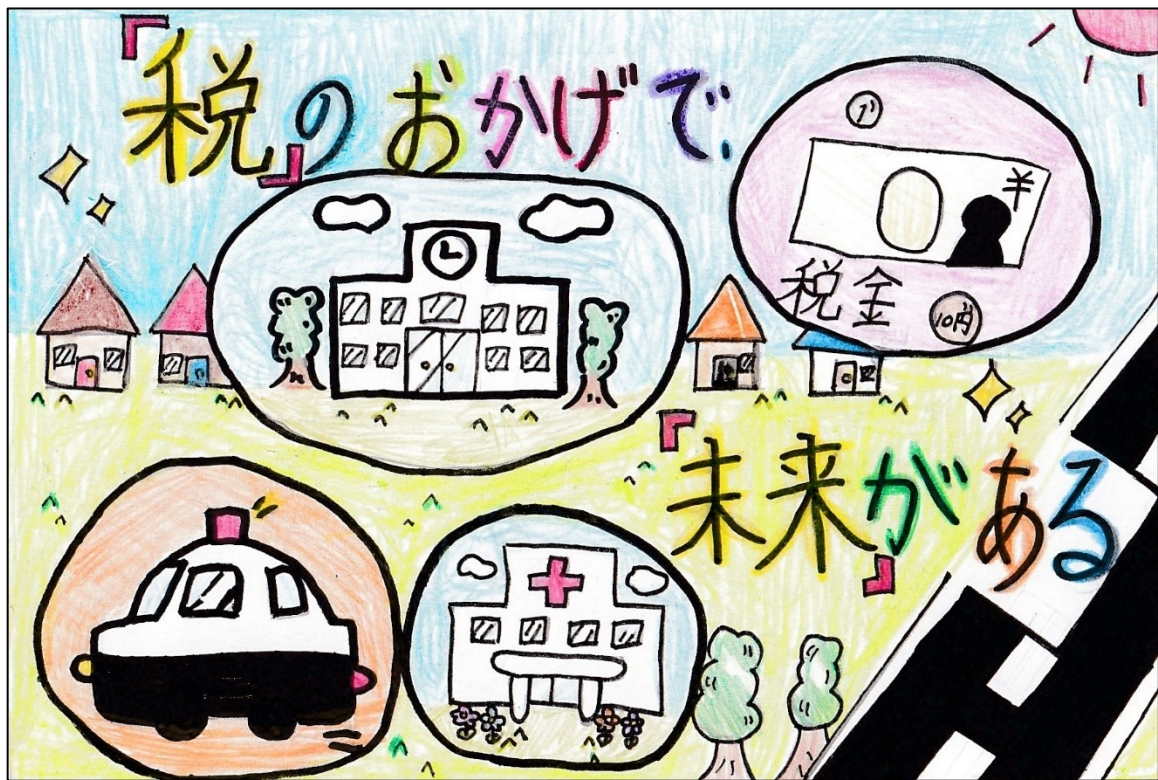


利府町立青山小学校

さいとう
齋藤

ゆあ
結愛

《公益社団法人塩釜法人会 優秀賞》



利府町立菅谷台小学校

いいむら 飯村
りおん 凜音

<審査員総評>

講評1 小学生に税金てなんだろう、と聞いても普通ピンとこないであろうが、作品を作る

にあたって、一生懸命「税金」の意味について考えたと思われるところが、一つ一つ作品に滲み出ていた。例えば入賞作品の、梯子(はしご)のような作品。あえて文字が逆になっているのが、現在の視点と、未来から見た視点に捉えられる。未来へつながる線路のようで、今の立ち位置だけではなく、未来を意識する事で「税金」の意味を考えられたところが作品に込められているのかと興味深く感じた。

全体的に「今の暮らしは税金で成り立っている」ことを学んだのであろうが、中には「町で税金が出来ている」等、根本的に少し逆転した捉え方をした作品もあったが、小学生なりに一生懸命意味を考えながら描こうという気持ちが伝わってきた。

講評2 はがきのサイズに、税にまつわるものを入れようとする、多くの情報の中から選

びとりまとめる事が難しい。相当大変な作業だが、今年は伝えたいという思いやメッセージがストレートに伝わってくる、思いがにじみあふれ出るような作品が多かった。

入賞作品を見ると言葉や描写にかなり工夫や努力を感じた。おそらく下書きで何ミリ単位の細かなマス目を引いたであろう作品があった。そのマス目の上に絵や文字がおさまるように構成されていて、すごい実行力、努力ぶりを感じた。シャボン玉の作品は、ただ丸の中に絵を描くのではなく、シャボン玉というイメージに組み合わせていたり、地域の風景が描かれた作品があったり、より身近に感じられる目線で描かれていて、見ていて心が温かくなる作品が多い印象だった。児童の頑張りが見える作品たちだった。